

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 21日

島根県知事
丸山 達也 殿

提出者

住 所 島根県松江市春日町636番地

氏 名 カナツ技建工業株式会社

代表取締役 金津 任紀

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0852-25-5555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	カナツ技建工業株式会社
事業場の所在地	松江市春日町636番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	90億円
③ 従業員数	278人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事から発生する産業廃棄物について、処理内容を確認して収集運搬及び処分業者に委託して適正処理を行う。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排 出 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・ 実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・ 実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別添1のとおり		
	産業廃棄物の種類	全品目	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物の処理委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。		

② 計画	【目標】 別添2のとおり		
	産業廃棄物の種類	全品目	—
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・ 処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を実施する。 ・ 再生利用が可能である廃棄物は、再生利用業者へ処理委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書(別添1)

産業廃棄物の種類 名 称	計 画 図 案 の 施 行 状 況										⑩ = ①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧ = ⑩+⑪+⑫+⑬				⑭優良認定処理業者 への処理委託量(t)
	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量 (t)	④自ら中間処理 した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑨自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑩直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 (t)	受 託 先 に よ る 区 分			⑮熱回収認定業者 熱回収業者への処理委託量 (t)	⑯その他の処理業者 への処理委託量(t)
											⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者への 処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量 (t)		
コンクリートがら	1,020	0	0	0	0	0	0	0	0	1,020	0	0	0	0	94
アスコンがら	307	0	0	0	0	0	0	0	0	307	0	0	0	0	93
その他がれき類	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	2
がらくず・陶磁器 くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	77	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0	0	0	77	47
金属くず	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
混合(安定型)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
建設汚泥	18	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	2
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	240	0	0	0	0	0	0	0	0	240	0	0	0	0	1
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石膏ボード	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合(管理型)	65	0	0	0	0	0	0	0	0	65	0	0	0	0	47
石綿含有産業廃 棄物	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,741	0	0	0	0	0	0	0	0	1,741	1,578	0	0	163	290

産業廃棄物処理計画書(令和5年度目標)(別添2)

産業廃棄物の種類 名 称	計 画 施 行 状 況													⑩ = ①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧ = ⑩+⑪+⑫+⑬				⑭優良認定処理業者 への処理委託量(t)	
	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量 (t)	④自ら中間処理 した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した量 (t)	⑨自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑩自ら中間処理 した後自ら埋立 処分又は海洋投 入処分した量 (t)	⑪直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 (t)	受 託 先 に よ る 区 分			⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量 (t)	⑭その他の処理業者 への処理委託量(t)	⑮優良認定処理業者 への処理委託量(t)		
												⑬再生利用業者への 処理委託量(t)	⑭熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑮熱回収認定業者以外 の熱回収業者への処理委託量 (t)	⑯再生利用業者への 処理委託量(t)	⑰その他の処理業者 への処理委託量(t)	⑱優良認定処理業者 への処理委託量(t)		
コンクリートがら		989	0	0	0	0	0	0	0	0	989	0	0	0	0	0	91		
アスコンがら		298	0	0	0	0	0	0	0	0	298	0	0	0	0	0	90		
その他がれき類		8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	2		
ガラスくず・陶磁器 くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック類		75	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	0	0	0	75	46		
金属くず		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3		
建設汚泥		17	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	17	2		
木くず		233	0	0	0	0	0	0	0	0	233	0	0	0	0	0	1		
廃石膏ボード		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
建設混合廃棄物 (混合(管理型))		63	0	0	0	0	0	0	0	0	63	0	0	0	0	63	46		
石綿含有産業廃 棄物		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0		
廃油		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計		1,689	0	0	0	0	0	0	0	0	1,689	0	0	0	0	158	281		